

防災ガイドブック

「町づくり・目をかけ・声かけ・手をかけて」
みんなで支える防災活動

この冊子は、災害時に7日間生き延びるため「平常時の準備」と「災害時の行動」について参考となる手引書です。

自助



- ☑ 日頃から家族で話し合い
チェックしておきましょう！

共助



- ☑ 住民・地域や事業者
が助け合って守る！

公助



- ☑ 行政による
防災・減災対策！

災害時安全に避難、火災を出さない、全員が7日間生き延びる

「全世帯・事業所配布用」 初版
六ツ美南部学区まちづくり協議会

1 はじめに

(1-1)防災計画(ガイドブック)策定の必要性

減災には、自分の身は自分で守るための「自助」と地域住民の助け合う「共助」が最も重要になります。そのため「平常時の準備と災害時の行動」について定めたものがが必要です。

(1-2)防災計画の考え方

大災害後は「行政の支援なし・消防車・救急車も来ない・電気と上下水道も使えない・通信は不通」を想定して7日間生き延びるため、準備と行動の参考になる手引書を作成しました。

(1-3)用語説明

この防災ガイドブックには、専門用語が多く使われています、以下のよく出てくる用語をあらかじめ理解したうえで活用願います。

用 語	内 容
(岡崎市)災害対策本部	災害が発生、または発生するおそれがある場合に、岡崎市に設置される機関。災害の情報収集や発信、関係機関との連絡調整を行います。
町防ぎょ隊本部	各町の自主防災活動の拠点となる場所を指します。町の被災状況等の情報を集約・共有し、復旧・復興活動につなげます。防災マップに場所の記載あり。
近隣待避場所	駐車場や公園等、身近で安全な屋外の場所を指します。震災直後に地域で救助活動や、初期消火活動、安否確認等を協力して行う場所です。多くの町で防災マップにその位置が記載されています。
一時避難場所	自宅が被災したり、自宅に留まることに不安があったりする場合に一時的に避難する屋外の場所を指します。六ツ美南部小学校の屋外運動場等が指定されています。
(指定)避難所	災害で住む家を失った人の一時的な生活場所になりうる場所です。災害の危険性があり避難した住民を、災害の危険性がなくなるまで必要な間滞在させる施設で、自立支援の拠点になります(六ツ美南部小学校の体育館等)。
避難所運営委員会	避難所を円滑に運営するための組織で、避難して来た方たちで組織する委員会です。運営に当たっては岡崎市から発行されている「避難所運営マニュアル」を参考にします。
町防災マップ	各町が災害時の注意箇所や避難所の場所、行動指針等をまとめたマップです。防災ガイドマップとも言います。町単位で作成します。
岡崎市小学校区別防災カルテ	小学校区ごとに想定震度や液状化の危険性等をまとめた地区カルテです。市のホームページからダウンロードできます。
災害時避難行動要支援者	高齢者、障害者、乳幼児等の防災施策において特に配慮を要する方(要配慮者)のうち、災害発生時の避難等に特に支援を要する方を指します。岡崎市災害時避難行動要支援者支援制度に登録することで、地域支援者の手助け等を受けられます。
学区災害対策本部(*)	六ツ美南部学区防災防犯協会連合会(総代会担当)により、六ツ美南部小学校に開設され運営が行われる。
組集合場所(*)	近隣待避場所へ避難する前に、組単位で集合する場所を指します。ガス元栓を確認、電気ブレーカーを切る等の確認、災害時の要支援者への協力、外出者を含む身内の安否確認、取り残された方の救出、初期消火、けが人の手当等を協力して行う場所です。当委員会で各町の実情に応じ設定する事を提案しています。

出典：岡崎市地区防災計画策定マニュアル・当委員会で(*)を加筆

2 六ツ美南部学区の地震と水害による被害想定

岡崎市の防災カルテや防災ガイドブック等を参考に、六ツ美南部学区まちづくり協議会の「災害に強いまちづくり委員会」が独自にまとめたものです。

(2-1)地震災害の被害想定

項目	被害想定・状況・対応策	
最大震度	最大震度6強が想定されています、震度6強では人が立ってられない、家具転倒、窓ガラス破損落下。	
地盤の液状化	正名から中島西町間が極めて高い、その他は低い	
死亡者数	地震による死亡者数は11人と想定（人口11,000人の0.05%～0.1%と推定）	
重傷者数	地震による重傷者数は50人～105人、軽傷者1,050人と想定	
救助活動	要救助者の増大や道路の通行不能で7日間は、公共の救助は期待できない。負傷者の救助は家庭内（自助）および近隣住民（共助）で行う必要がある。	
建物倒壊	倒壊は学区全体で1,050棟（7,000棟の15%と想定）	
延焼建物数	7,000棟の内、500棟が延焼すると推定	
消防活動	消防車の消火活動は困難 各家庭で火を出さない初期行動、および近隣家庭による消火器を使用した消火活動（初期消火）が重要と考える。	
道路閉塞	衣浦岡崎線など幹線道路は障害物が存在するが通行可能と想定。	幹線道路は復旧に4日、生活道路は40%～70%。 閉塞復旧に2か月
上水道・下水道	上水道断水、下水機能障害発生	復旧に7日から14日
電力・都市ガス	地震直後90%が停電	電力復旧4日～7日、ガス復旧14日
固定・携帯電話	固定・携帯電話の90%が不適	復旧に4日～7日

(2-2)水害時の被害想定

項目	被害・危険度想定・対応策			
氾濫時の浸水高さ	矢作川	最大浸水高さ 5m	全域2階軒下浸水	3階建て以上に避難
	広田川	最大浸水高さ 2m	1階床上浸水	2階に避難
	安藤川占部川	最大浸水高さ 1m	1階床下浸水	2階に避難
平成28年鬼怒川決壊事例	堤防決壊	決壊幅200m	仮堤防に7日	応急復旧に14日
	排水	排水ポンプ車による排水		排水に10日
	孤立日数	最大5日		
浸水家屋	矢作川決壊時は100%（7,000戸）			
水害一時避難場所（六ツ美南部小学校）	総人口11,000人の小学校への避難は困難。小学校も冠水するため早めに南部学区外の高台地域に避難する。			
道路・上下水道	全て冠水、通行給水不可	復旧は排水完了から数週間 *		
電力・LPガス	全て停電/ガス全て冠水使用不可	復旧は排水完了から1から数週間 *		
固定電話	全て冠水、通信不可	復旧は排水完了から数週間（仮復旧） *		
携帯電話	一部通信不可	復旧は排水完了から数日（仮復旧） *		

* 平成 28 年鬼怒川決壊事例

3 平常時の準備と災害時の行動要領

(3-1) 平常時個人が準備すること

① 自宅及び自宅周辺の安全確認

- ・ 宅内に避難時の妨げとなりそうな物が無いか家族で確認
- ・ 自宅周辺で落下物や倒壊の恐れのある構造物の有無を確認

② 近隣避難場所の確認 ➡ 12 ページ

- ・ 防災マップで、災害時集合場所や経路の確認をすると共に、近隣避難場所迄実際に歩いて所要時間や危険箇所など無いか確認

③ 家族との安否確認の方法 ➡ 12 ページ

- ・ 災害時の安否確認の方法について家族間で確認し、実際に体験

④ 住宅の耐震化、家具固定、ブロック塀等の点検(改修) ➡ 8 ページ

- ・ 昭和56年以前に(旧耐震基準で)建築された建築物は、耐震基準に合っていない可能性があります早急に耐震診断を受け専門家のアドバイスを受ける必要あり
- ・ 宅内においては、家具や家電(テレビ冷蔵庫等)の適切な固定をする
- ・ ブロック塀は建築基準法に適合した構造で、亀裂や傾斜等が無いか確認

⑤ 非常用備蓄の整備 ➡ 9 から 11 ページ

- ・ 7日間家族が自力で生活できる食料品と生活備品の備蓄実施

⑥ 出来るだけ近隣世帯(組単位)との協調 ➡ 4 ページ

- ・ 近隣 5 世帯程度(組単位で)の助け合いが出来るよう日頃から情報共有できる様心がける

⑦ 各町防ぎょ隊(防災組織)への積極的参加

- ・ 防災組織に積極的に参加し、役に立ちそうな技術や機材等があれば登録

⑧ 防災訓練避難訓練等への積極的且つ継続的参加

- ・ 自分や家族を守る為に、家族全員で繰り返し避難方法や経路等を習熟

⑨ 要支援者への支援役を決めておく

- ・ 各町で要支援者の支援役の方を決めておく

⑩ 地震緊急情報、水害避難情報などの入手方法の確認 ➡ 7 ページ

⑪ その他

- ・ 過去の経験を過信せず、想定以上の事態に備える

(3-2) 災害発生時個人がとる行動

① 安全第一 ➡ 4 から 6 ページ

- ・ 空振りを恐れることなく避難と迅速な行動で身の安全を確保

② 被害状況の確認 ➡ 12 ページ

- ・ 状況が落ち着いたら、冷静に被害状況や家族の安否確認をする

③ 生活環境の整備

- ・ 自力、他力にたよる事無く、生活環境の整備復旧を前向きに取り組む

④ 被害の記録 ➡ 14 ページ

- ・ 被災した場合は特に写真等の記録を残す(罹災証明作成時に必要)

⑤ 支援申請(義援金、生活再建支援金)

⑥ 被災者への支援

自分の身は
自分で守る



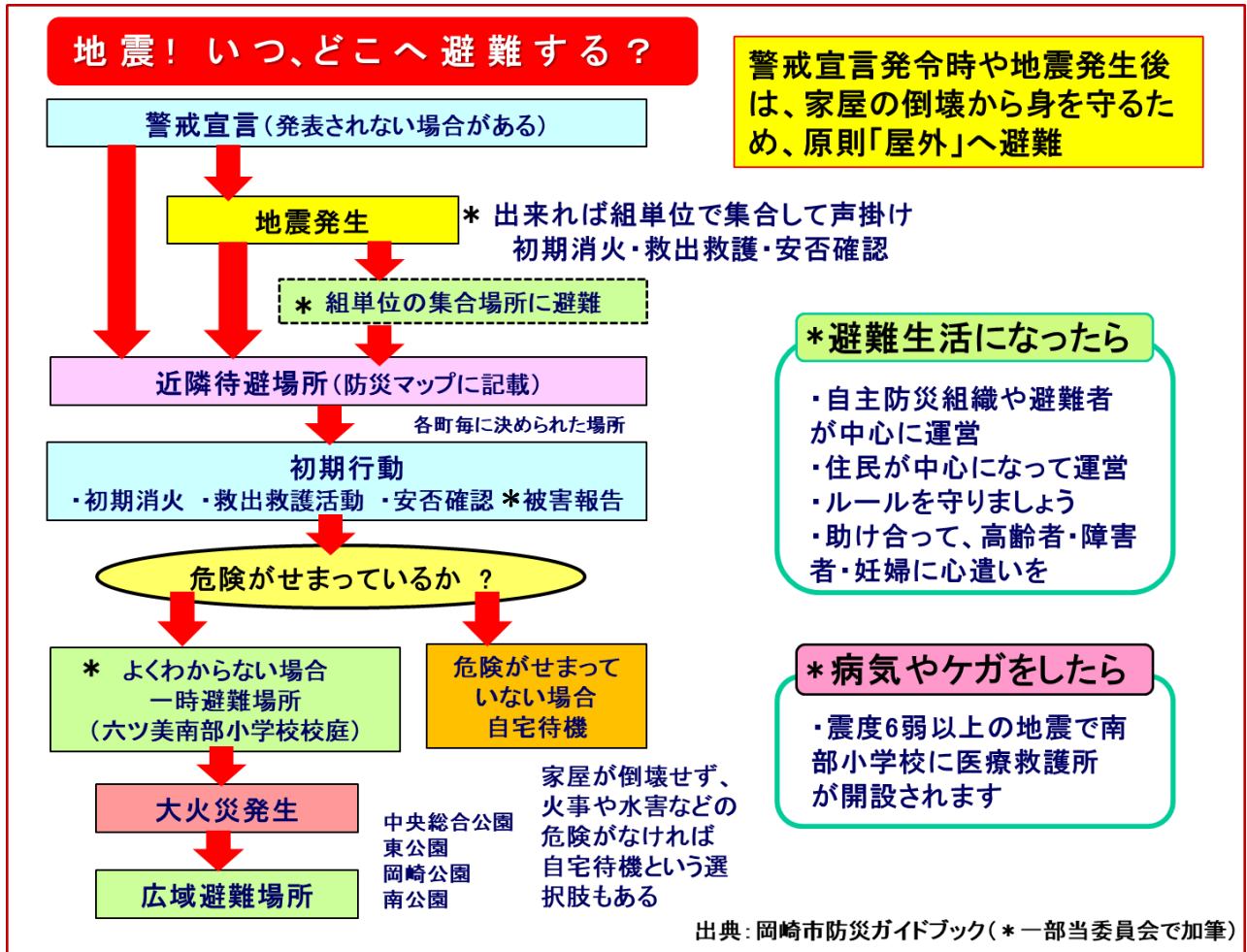
安否確認



安全に避難し、火災
を出さない

7日間生き延びる

(3-3)災害時の避難行動



(3-4)避難行動の説明

- ①警戒宣言 (発表されない場合があります)
 - ・家屋などの倒壊に備え屋外の安全な場所へ避難
 - ・非常持ち出しを確認
- ②地震発生
 - ・5ページの詳細行動要領に従い行動する
- ③各組単位の各組集合場所へ避難:
 - ・できれば組単位で避難集合して声掛け、初期消火、救出救護、安否確認をする
 - ・町によっては防災マップに集合場所が記載されている
- ④近隣待避場所へ避難:
 - ・各町防災マップに記載された場所に集合
 - ・初期消火、救出救護、安否確認、被害報告、要支援者への支援
- ⑤危険がせまっていない場合:
 - ・家屋が倒壊せず、火事や水害などの危険がなければ自宅待機という選択肢もある
- ⑥よくわからない場合「住む家がなくなった場合」:
 - ・一時避難場所 (六ツ美南部小学校の屋外グラウンド) へ避難
 - ・六ツ美南部小学校の体育館に学区災害対策本部 (総代会による) が開設される

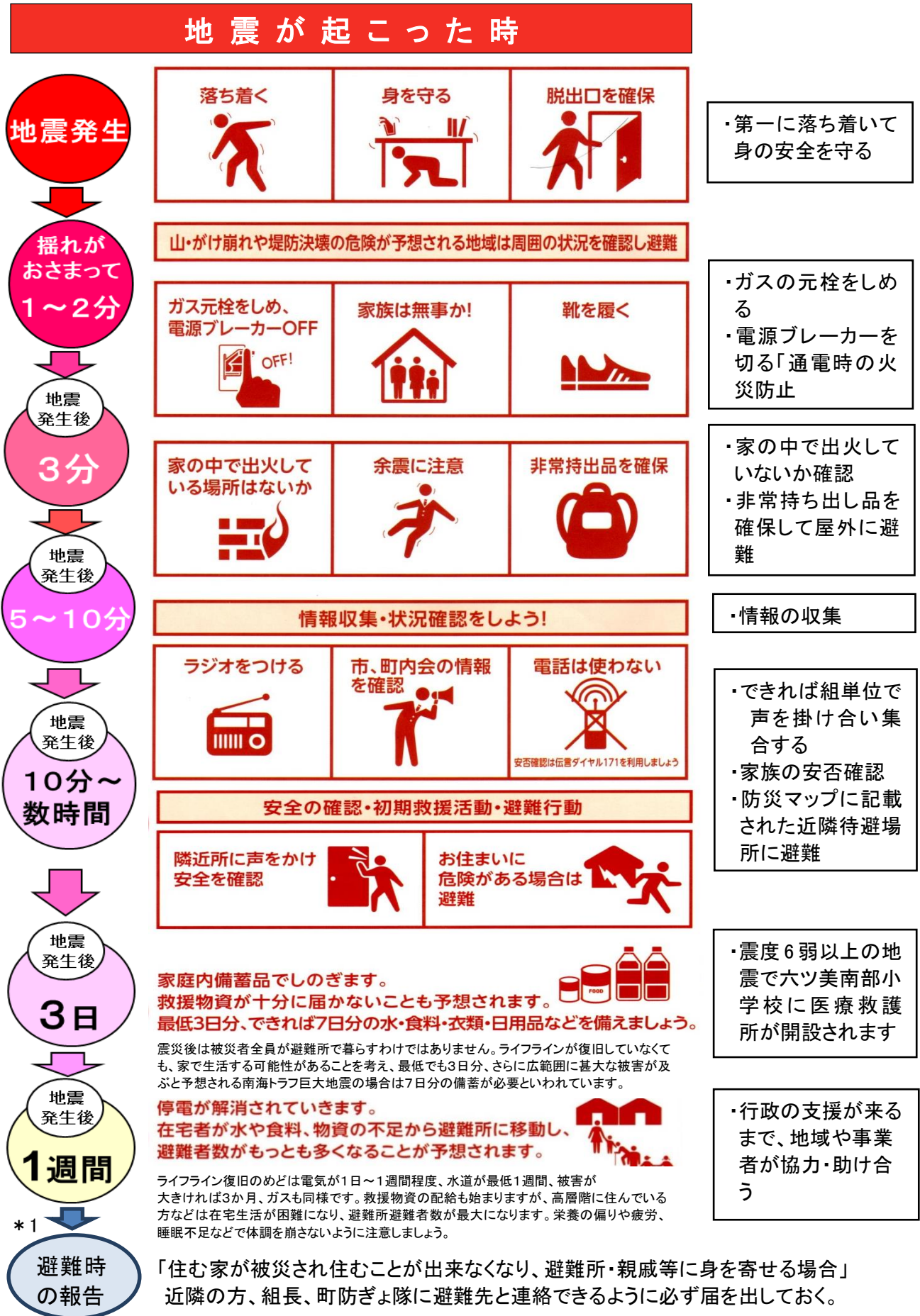
(3-5)避難所生活になったら「(指定)避難所が六ツ美南部小学校の体育館」に開設される

- ・避難所運営委員会のルールに従い避難者が中心になり運営をする

(3-6)病気やケガをしたら

- ・震度6弱以上の地震で六ツ美南部小学校に医療救護所が開設される

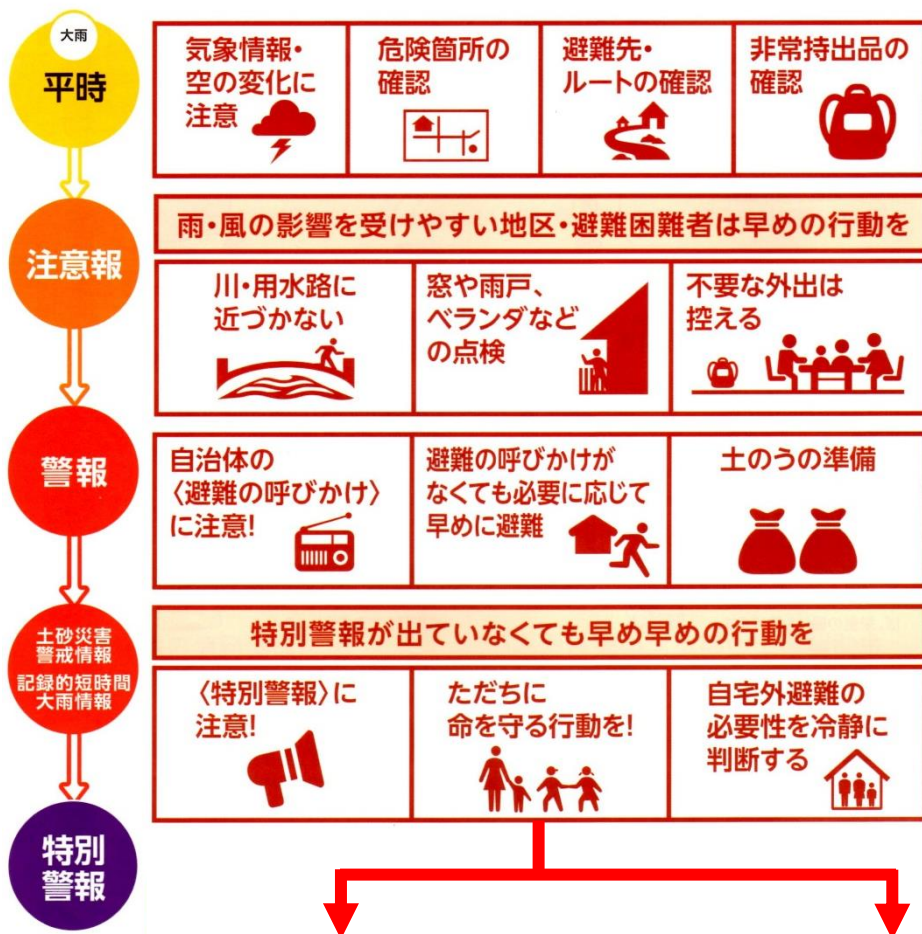
(3-7)地震災害時の避難行動



出典：岡崎市防災ガイドブック*1 当委員会で加筆

(3-8)風水害時の避難行動

風水害から身を守るために



風水害から身の安全を図れる場所はどこか、家族や各町組単位で話し合う

7ページを参考に情報を入手する

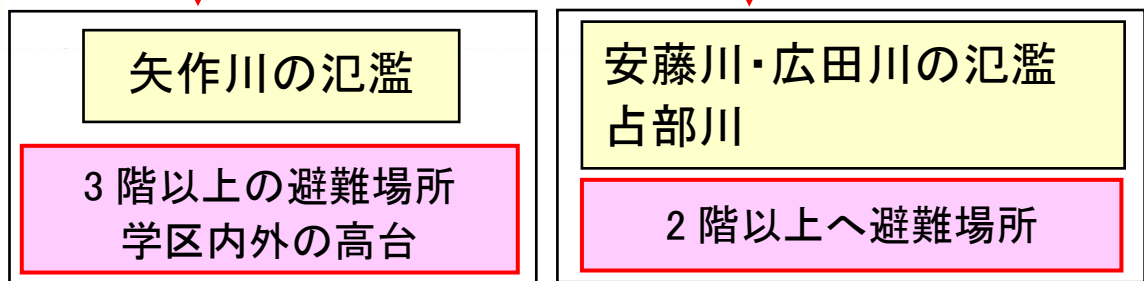
空振りを恐れず早めの避難行動を!

岡崎市防災ガイドブックを参照

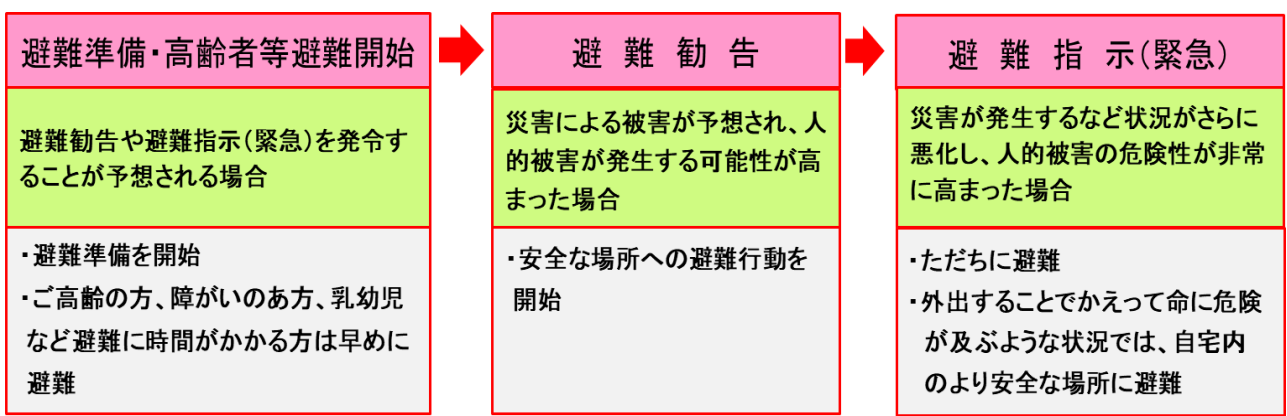


岡崎市防災ガイドブック

出典：岡崎市防災ガイドブック
当委員会の一部加筆



避難するとき・・・いつ避難する？



(3-9)個人(世帯)での緊急情報の入手方法

(3-9-1)地震・水害・気象警報・竜巻・大雨情報・南海トラフ地震関連情報

①気象庁 HP ・http://www.ikz.jp/hp/awararookies/choku2_index.html

②携帯電話・スマートフォンから「防災くん」に登録しておく

自動的にメールが配信されます

・検索「岡崎市防災くん」

・<http://www.city.okazakibosai.jp/entry/guide/> 又は

・QRコードで簡単に登録出来ます

③ホームページ、ツイッター、フェイスブックで

「岡崎市緊急情報：地震災害」で検索

・<http://www.city.okazaki.lg.jp>

④防災ラジオの設置(個人で購入、購入価格 9.500 円形式 KCT-02C)

・自動的に緊急情報が放送される

・購入先：兼藤産業 神奈川県横浜市旭区左京山 9-5-203

TEL:045-351-0940



(3-9-2)水害時の情報の入手方法

①テレビ・一般ラジオより

・ケーブルCATVテレビのチャンネルおかげきより12又は121チャンネルで

・(株)エフエム岡崎(FMラジオ 76.3MHz) スマートフォンでも可

②河川水位情報「ウェブカメラ情報」

・国土交通省川の防災情報

* PC版 <http://www.river.go.jp/>

* スマートフォン版 <http://www.river.go.jp/s/>



③岡崎市河川水位、路上水位情報

・<http://www.city.okazaki.aichi.jp/>

・検索「岡崎市に設置されている国交省カメラ」

(警戒水位にはサイレンでお知らせする、但し、南部学区内には現在設置されていません)



(3-10)住民への発信、伝達方法

基本的には各個人(世帯)で情報入手し、避難準備、避難行動を行う(各町内にて要支援者世帯への伝達方法及び避難手段を予め誰が行うのか決めておく必要がある)

①町内有線放送による伝達(占部地区のみ)

②各町防ぎょ隊連絡網による(メール・LINE・直接口頭連絡にて)

③サイレンによる方法(消防団がサイレンでも行う)

* 参考情報

・岡崎市災害対策本部と南部学区災害対策本部間は衛星携帯電話により通話可能

・南部学区災害対策本部(六ツ美南部小学校に開設)に1台を配備(市本部との通信用)

・その他、岡崎市災害対策本部7台 各支所各1台 警察・県事務所・医師会各1台 学区防災防犯協会(岡崎市各学区総代会長)には50台を配備済です



検索
「岡崎市防災ガイドブック」



検索
「岡崎市水害対応ガイドブック」



検索
「岡崎市自主防災マニュアル」

4 住まい・食料品・生活用品の備え

(4-1)家屋の耐震化

①耐震化の必要性

- ・大震災で亡くなった人の8割以上は建物の倒壊や家具の転倒によるものです
- ・昭和56年5月31日以前に建築された家屋は耐震基準に合っていない可能性があります

②市の援助 耐震チェック、耐震補強工事をしましょう

- ・木造住宅の無料耐震診断（お申し込みは、市役所住宅課へ）
- ・木造住宅の耐震補強工事補助金……耐震改修費補助制度 最大100万円（※注）
（注 金額は平成30年度で、年度により変更有り）



(4-2)部屋の中の安全対策

①家具等の転倒防止

- ・タンスや棚などはL字型金具で固定するか転倒防止支柱で固定しましょう

②電気製品の転倒防止や安全対策

- ・冷蔵庫やテレビなどの転倒防止、照明器具の落下防止をしましょう
- ・暖房器具の周りには燃えやすい物を置かないようにしましょう

③窓ガラスの飛散防止

- ・ガラス面に飛散防止フィルムを貼りましょう



部屋の中の安全対策

家具などは天井と固定
揺れによって家具が転倒しないよう奥側に固定すると効果がある。



タンス・棚
L字型金具などで固定。転倒防止支柱の場合は壁側に設置し、免震ゴムを家具の手前に入れる。

ユニットで隙間を埋めよう

- ・家具と天井のすき間を上置き型ユニットで埋めて転倒防止対策をする。
- ・出来るだけ低い所に置き、全体をしっかり固定。ゲルマットを敷くと効果があります。
- ・二段式家具の場合は、上家具と下家具のつなぎ目を金具で固定する。

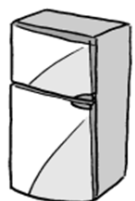


ストーブ
耐震自動消火装置付きストーブを使用し、周囲に燃えやすい物を置かない。



テレビ

出来るだけ低い所に置き、全体をしっかり固定。ゲルマットを敷くと効果があります。



冷蔵庫

家電店などで販売されている専用の転倒防止ベルトで固定する。



ピアノ

本体をふとめの柱などに着けた金具に連結し、しっかり固定する。

出典：中日防災ハンドブック、当委員会で一部加筆

(4-3) 7日間生き延びる為の備品

①食料品、家庭用品、医療衛生用品、貴重品

- ・夫婦、子ども2人の4人家族としての事例
- ・妊婦、乳幼児、介護支援者は個別に準備する

以下は最低限備えておきたいリストです。但し、乳幼児や高齢者がいる場合、持病、アレルギー体質など各家庭の家族構成や課題を考えて備えてください。

食料品

- 飲料水(一人1日3リットル目安)
- 主食(レトルトご飯、麺など)
- 主菜(缶詰、レトルト食品、冷凍食品)
- そのまま食べられるもの
(クラッカー、かまぼこ、チーズなど)
- 缶詰(果物、小豆、魚類)
- 菓子類(チョコレート、ビスケットなど)
- 調味料(醤油、塩、砂糖)
- 栄養補助食品

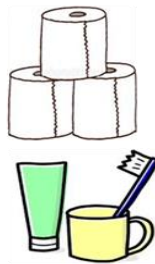
家庭用品

- はし、スプーンなど
- 缶切り、ナイフ、栓抜きなど
- 紙皿、紙コップ、ラップ
- ビニール袋、ごみ袋



医療用品・衛生用品

- 三角巾、包帯、ガーゼ、絆創膏
- 救急箱
- 常備薬、お薬手帳
- 消毒液、石鹸
- ウエットティッシュ
- 生理用品
- ティッシュペーパー
- トイレットペーパー
- 紙おむつ
- 携帯トイレ
- 歯磨きセット、歯磨きシート
- 抗菌・消臭剤



貴重品

- 現金(小銭も必要)
- 預金通帳
- 免許証
- 健康保険証(コピーでも可)
- 認証、印鑑
- クレジットカード類
- めがね(近視用、老眼用)



貴重品は持ち出し可能なら、非常持ち出し袋の中に入れておくと便利

出典: 中日防災ハンドブック、当委員会で一部加筆

参考資料紹介

女性の視点を生かした
防災対策事例が掲載
されています

検索「yahoo ブックストア
東京くらし防災」



検索
「東京くらし防災」
東京都 HP
閲覧ガイドページ



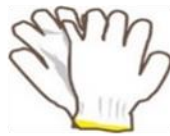
(ページ数が多いのでパソコン検索を推奨)

②生活備蓄品

- ・ 防災用品・燃料・照明器具、高齢者、疾患のある方
- ・ 枕元に置いておくもの

防災用品・燃料・照明器具

- 卓上カセットこんろ・予備ガスボンベ
- 携帯ラジオ、スマートフォン
- 軍手、ゴム手袋、ラテックス手袋
- 懐中電灯、ろうそく、マッチ(ライター)
- 予備電池(乾電池)
- 菓子類(チョコレート、ビスケットなど)
- 調味料(醤油、塩、砂糖)
- 栄養補助食品
(できれば車のガソリンは常にタンクの半分は給油して置く)



高齢者

- 入れ歯
- 大人用おむつ
- 杖などの愛用品
- 介護食

疾患のある方

- 下着(家族最低3日分)
- 長袖衣料、防寒具
- 雨具、カッパ
(セパレート型が動き易い)
- タオル(大・小)

枕元に置いておくもの

- 運動靴か厚底スリッパ (ガラス等が散乱し、はだしでは危険なため)
- ホイッスル (万一、ガレキの下に閉じ込められた場合、音を出して助けを呼ぶ)
- 懐中電灯
- メガネなど、すぐなくては困るもの
- ベスト(ポケットが多く有るタイプ)



③出来れば備蓄しておきたい物

- ・ 乳幼児用や介護支援者用に備えておきたいもの
- ・ 事前に備蓄しておくとのちのち役立つもの

乳幼児

- 粉ミルク、粉ミルク用の水
- 哺乳ビン・乳首
- 酸素系漂白剤
- 離乳食
- 紙おむつ(生理用品)



- さらし
- おしり拭きウェットティッシュ
- 帽子
- お菓子、飲み物
- おしゃぶり・おもちゃ
- 母子手帳など重要書類写し

事前に置いておく役立つもの

- 食料・飲料水
- 寝袋、毛布
- マットレス
- ガムテープ
- テント
- キャンプ道具



- 新聞紙
- ロープ、のこぎりなど工具類
- ビニールシート
- 卓上カセットコンロ(予備ボンベ)
- 消火器
- 簡易トイレ・携帯トイレ



落ち着いたら取りに来ることを考えて、物置や車などの出しやすい場所においておく

出典：中日防災ハンドブック、当委員会の一部加筆

(4-4)生活しながら無駄なく備蓄する方法

食料品のローリングストック、生活備品のローリングストック。

日常備蓄のしかた

「日常備蓄」とは、普段使っているものを常に少し多めに備えること。特別なものを備える必要はないのですぐに取り組みます



(4-5)非常持ち出し

- ①非常持ち出し品リスト
 - ・最低限の必需品目をそろえておく
 - ・個人的に必要なもの(常備薬など)
- ②非常持ち出し袋



非常持ち出し品リスト			
懐中電灯	毛布	食品	哺乳瓶
携帯ラジオ	電池	ラーメン	現金
ヘルメット	ライター	缶切り	救急箱
防災頭巾	ろうそく	ナイフ	預金通帳
軍手	水	衣類	印鑑

実際の災害時に役立つもの「1000人のアンケート結果より」					
1位	懐中電灯	13位	ウェットティッシュ	25位	非常灯
2位	ラジオ	14位	使い捨てカイロ	26位	ビニールシート
3位	飲み水	15位	ガムテープ	27位	ロープ
4位	インスタント食品	16位	タオル	28位	消火器
5位	缶詰	17位	防災用非常食	29位	断熱シート
6位	カセットコンロ	18位	マスク	30位	ガス・電気の自動消火
7位	ろうそく	19位	給水袋・ポリタンク	31位	戸棚飛出し防止フック
8位	家具転倒防止器具	20位	救急箱	32位	レインコート
9位	軍手	21位	携帯用充電器	33位	硝子飛散防止フィルム
10位	風呂の残り湯を残す	22位	ハサミ・ナイフ	34位	災害用携帯トイレ
11位	ラップ	23位	家具固定マット	35位	助けを呼ぶ笛
12位	ポリ袋	24位	スリッパ	36位	その他

出典: 中日防災ハンドブック、当委員会で一部加筆

(4-6)避難経路の安全対策と確認

- ①岡崎市防災マップで確認する(岡崎市防災ガイドブック:地図編をネットから)
- ②各町の防災マップで確認する
- ③防災アプリを利用する ・全国避難所ガイド ・ゆれくるコール
・Yahoo! 防災速報 ・Waaaaay!(無料)等を利用



(4-7)家族との具体的通信手段

- ①一般加入電話、公衆電話を利用する。・・・NTT災害伝言ダイヤル(171)



●防災用伝言ダイヤル 171 ・伝言登録 1 7 1 ⇒ 1 ⇒ 自宅電話番号 + 伝言
(被災地の方:自宅の電話番号、30秒以内で伝言)

電話の音声案内に沿って番号を入力

(被災地以外の方:被災地の電話番号で伝言)

毎月1日と15日に試行できます

・伝言再生 1 7 1 ⇒ 2 ⇒ 自宅電話番号

●防災用伝言版(web171) ・伝言登録 web171 にアクセス ⇒ 自宅電話番号 + 伝言

- ②携帯電話から専用の伝言板サイトで、伝言を残すことができる

検索「災害用伝言板 NTTドコモ」	検索「災害用伝言板 au」	検索「災害用伝言板 ソフトバンク」

- ③インターネットに接続可能パソコンでNTT災害用ブロードバンド伝言板(web171)

家庭内で「家族の役割分担・連絡を取り合う方法」を定期的に話合しましょう

(4-8)防災意識の高揚

- ①各町で市開催の自主防災指導員講習会へ参加
- ②町民の方への防災意識高揚の為の活動
 - ・アンケート実施し住民の思いを生かす行動
 - ・町内防災訓練等への参加を呼びかける
 - ・防災計画冊子を活用して平常時の準備や防災訓練などに生かす
 - ・年度始めに組長、町防ぎょ隊員への説明と訓練を実施し理解を深める
- ③過去の災害事例の紹介・・・伊勢湾台風、三河地震、平成20年8月末豪雨など
- ④町民の中に警察、消防、看護師などの経験者がいる場合の協力者への登録依頼

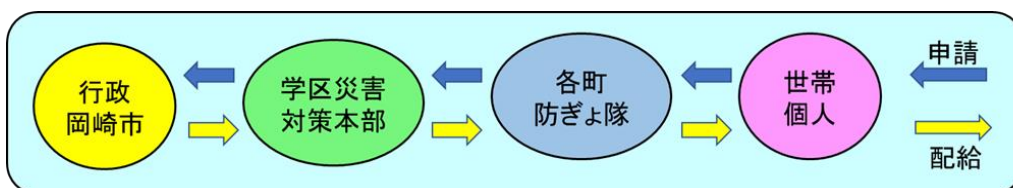


(4-9)ボランティアの申請

- ①災害後、市の要請でボランティア支援センターが開設され、市内外からボランティアを受け入れる
- ②ボランティアの申請は、原則被災者個人がボランティア支援センターへ申請する



(4-10)救援物資の申請、配給 (現状の防ぎょ隊を参考に運用を掲載)



(4-11)地震災害・水害災害時の協力事業所(施設)一覧

南部学区の各町より多くの事業所、商店、医療機関からご協力の同意を頂きました、災害時には各町総代様を通じてご協力を頂く事になりますのでご理解願います。

「①近隣待避場所 ②高所(3階建て以上)近隣待避場所 ③資材・機材提供 ④重機による救助」

平成30年11月4日(敬称略・順不同)

町名	戸数 住民数	収容 人数	施設・事業所名	収容 人数	施設・事業所名	収容 人数	施設・事業所名・町内会
国正	91戸	100	①稲荷神社	50	①ファミリーマート	100	①国正公民館
	258人		—	③渡辺木工			
中村	175戸	50	①占部天神社	50	①永照寺	150	①防災倉庫前広場
	515人	50	①東漸寺	—	③近藤建具店	150	①中村公民館
定国	66戸	—	③杉浦施療院	—	③④橋本鉄工所	220	①あおみの運動場
	住民数	—	③杉浦左官	—	③④ボデーショップ渡辺		
	197人	—	③サダコー	—	③④太田造園		
正名 二軒屋	335戸	500	①二軒屋公園	—	③④加藤造園	—	④オペレーター加藤
	住民数	50	①正名児童遊園	—	③④近藤造園	200	①正名町公民館
	931人	150	①サンエイ(三河営業所)	—	④志水土木	100	①占部川神社
	—	100	②サンエイ(三河営業所)3階以上	—	④蔦瓦	300	①あおみの運動場
	—	—	③近藤土木	—	④大建コンクリート	100	①永應寺
正名 新町	84戸	171	①正名児童遊園				
上側	977戸 住民数 2,299人	10	①喫茶こくりこ	20	①山崎石油(株)中島給油所	—	③榊原モータース
		20	①六ツ美郵便局	10	①ダスキン中根	—	④早川クレーン
		60	①金山歯科医院	10	①東海クボタ(株)岡崎センター		
		10	①カネキチ中島店	10	①シンワホール	465	①南部小学校校庭
		100	①ソラル 杉浦	10	①早川ダンスホール	58	①市民ホーム駐車場
		100	②ソラル杉浦3階以上	10	①デンソーパーラー	95	①子供の家屋外
		20	①村山医院	30	①キングスコート西駐車場	152	①東記念館
		10	①焼肉飯店楽々亭	—	①グリーンアップル駐車場	20	①中央記念館
		80	①六ツ美南保育園	10	①ムツミ美容院横駐車場	143	①井ノ上公園
		100	①崇福寺前駐車場	10	①第二三島寿司中島支店	173	①長池公園
		50	①崇福寺駐車場	10	①あいち三河農協中島支店	235	①斎田公園
上側 新町	182戸				471	①駐車場	
	471人						
安藤	37戸	—	③杉浦鉄筋			120	①公民館
	120人						
八幡	572戸	400	①八幡社境内	—	③キックオフ	400	①斎田公園
	住民数	100	①志賀医院	—	③松田工務店	500	①悠紀の里広場
	1,489人	150	①碧信中島支店駐車場	—	③六ツ美輪業	50	①西記念館
新町	223戸	120	①ローソンコンビニ	—	③伊藤空調		
	506人				③早川モータース		
後屋敷	592戸 住民数 1,650人	150	①中島保育園	150	①城南リハビリクリニック	—	③渡辺設備
		116	①南建材	50	①岡崎信用金庫中島支店	—	④協栄組
		100	①いっとく	60	①鮫田社宅駐車場		
		150	①ランプ	70	①藤屋寮駐車場		
		260	①マグフーズ	20	②鮫田社宅3階以上	30	①後屋敷公民館
		167	①デイリーヤマザキ	20	②藤屋寮3階以上	60	①町公園
		120	①スギ薬局	—	③高橋組		
本町	78戸	59	①浄光寺裏広場	—	④六ツ美電気		
	221人	31	①日長社	—	④エスケイ設備		
境	696戸 住民数 1,670人	80	①ながら幼稚園	30	①アブ忠	—	③安田組
		70	①住吉神社	20	①理容室タケウチ		
		50	①龍泉寺	50	①鍋田眼科駐車場		
		20	①すきがら動物病院	40	①伊藤工務店	250	①町公民館
		50	①共映文具店駐車場	40	①カーピカランド	150	①資源ごみ分別場
小園	321戸	250	①小園神明社	70	①セブンイレブン	—	③鶴野建築
	住民数	50	①レストランきさく	60	①ファミリーマート		
	905人	200	①フェルナ中島店	50	①和田歯科	200	①小園公民館
高畑	28戸					84	①町公民館(公園)
	84人						

注記・①の近隣待避場所としての利用は「事業所、各施設とも全て屋外の広場・駐車場です」

(各町の戸数・住民数は岡崎市総合政策部企画課統計係平成30年12月1日資料より)

5 おわりに

(5-1)避難時の届け出のお願い

「住む家が被災され住むことが出来なくなり、避難所・親戚等に身を寄せる場合」
近隣の方、組長、町防ぎょ隊に避難先と連絡できるように必ず届を出しておく

(5-2)被害状況報告の流れと内容報告項目

①各組集計⇒ブロック(区)集計⇒町防ぎょ隊本部集計⇒学区災害対策本部集計
⇒岡崎市災害対策本部へ報告

②集計項目・・・岡崎市として情報収集項目とした帳票を参考に次頁に掲載

- ・建物被害(棟数) ・人的被害(人) ・道路被害(箇所)
- ・河川(箇所) ・その他(土砂崩れ、ブロック塀倒壊等)

③各町として必要な項目を追加して報告用紙を作成していただくように工夫願います

(5-3)被害状況報告用紙(例)

・各町にて決められた報告書が無い町の方は、万一の災害時にご利用下さい

被 害 報 告 書				
発信者	町内会名、区、組		区	組
	氏名			
	住所			
	固定電話・携帯電話	—	—	—
報告日時	西暦	年	月	日 時 分
被害状況	分類	種 別 (該当項目を○で囲む)	発生場所・住所等 (個々の状況が不明な場合は全体件数等)	連絡先
	建物被害 (棟数)	全壊・半壊・一部破損 床上浸水・床下浸水		
		全壊・半壊・一部破損 床上浸水・床下浸水		
		全壊・半壊・一部破損 床上浸水・床下浸水		
		全壊・半壊・一部破損 床上浸水・床下浸水		
		全壊・半壊・一部破損 床上浸水・床下浸水		
		全壊・半壊・一部破損 床上浸水・床下浸水		
	人的被害 (人)	死者・負傷者・不明者		
		死者・負傷者・不明者		
		死者・負傷者・不明者		
	道路被害 (箇所)	損壊・冠水・通行不能		
		損壊・冠水・通行不能		
河川(箇所)	破堤防・堤防越水			
	破堤防・堤防越水			
その他	崖崩れ・土石流・その他			
	崖崩れ・土石流・その他			

(5-4)災害に強いまちづくり委員会名簿（敬称略・順不同、平成30年12月時点）

まちづくり協議会委員								
役職	公職	氏名	役職	町名	氏名	役職	町名	氏名
顧問	市議会議員	井手瀬絹子	会長	八幡	服部 平	地域委員	上側	志波史彬
	市議会議員	杉浦久直	副会長	高畑	柵木勝良		安藤	杉浦勝英
	総代会長	木村宗春	事務局	八幡	早川信行		安藤	杉浦建夫
	前総代会長	小谷外志男	地域委員	国正	渡辺雪宣		八幡	小谷外志男(兼)
	社教委員長	茶木 正		中村	加藤祐幸		本町	柴田 彰
	六南小校長	大西和夫		正名二軒屋	原田 勝		境	鈴木哲男

災害に強いまちづくり委員会委員								
役職	町名	氏名	役職	町名	氏名	役職	町名	氏名
各町活動委員	国正	小嶋秀次	各町活動委員	新町	榊原喜久夫	社教関係活動委員	中村	近藤弘明
	中村	近藤良治		後屋敷	江藤 修		上側	早川のり子
	定国	山本宗史		後屋敷	長尾敏志		八幡	早川佐代子
	正名新町	森山尊文		本町	柴田 彰(兼)		八幡	服部旦依
	正名二軒屋	島貫 清		境	後藤秀明		本町	井村陽子
	上側新町	木村宗春(兼)		小園	新家 勉		本町	鈴木喜信
	上側	渡邊吉一		小園	市川文喜		小園	岡田英二
	安藤	市川 毅		高畑	堀内定則		高畑	大竹ますみ
	八幡	茶木 正(兼)						

(5-5)引用:参考文献

引用・参考文献	
東京防災（平成27年9月1日発行）	岡崎市帰宅困難者ガイドマップ
東京くらし防災	岡崎市防災ガイドブック(平成27年3月版)
中日防災ハンドブック	岡崎市小学校区別防災カルテ（平成27年10月版）
岡崎市自主防災活動マニュアル	岡崎市地区防災計画策定マニュアル（平成29年6月版）
岡崎市防災訓練マニュアル	岡崎市水害対応ガイドブック（平成25年2月版）
岡崎市避難所運用マニュアル	

(5-6)編集後記

六ツ美南部学区まちづくり協議会で「災害に強いまちづくり委員会」として防災計画冊子作成・配布の取り組みを進めてきました。編集に当たりましては岡崎市防災課、各町総代、社会教育委員会各団体、学区事業所様始め多くの方々のご協力、ご支援をいただきありがとうございました。冊子記載内容が十分でない部分や、表現に不備などもあると思いますが、ご容赦いただきたいと思います。

防災の原点は「自分の身は自分で守る」にあります、平常時の準備と・災害時の行動に向けてこの冊子を手引きにいただき、六ツ美南部学区全体の防災意識高揚と継続的防災訓練活動により、災害時に被災者が出ない事を関係者一同願う次第です。

災害に強いまちづくり委員会一同

六ツ美南部学区地区 防災ガイドブック「全世帯配布版」

発行日：2019年1月31日

編集・発行：六ツ美南部学区まちづくり協議会
「災害に強いまちづくり委員会」